

府立中津支援学校 「学校協議会」 報告書（第3回）

日 時	平成 28 年 3 月 15 日（木） 10:00～12:00	
出席者	学校協議会委員	学校事務局
	エルカレッジ・おおさか 校長	校 長
	大阪整肢学院 顧問	教 頭
	中津連合振興町会 会長	事 務 長
	新梅田シティライオンズ クラブ（欠席）	首 席
	中津更生園 施設長	首 席
	北区保健福祉課 課長代理（欠席）	小 学 部 主 事
		中 学 部 主 事
	高 等 部 主 事	
傍聴人		
おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度高等部進路指導状況 ・平成 27 年度学校教育自己診断アンケート ・平成 27 年度学校経営計画評価 ・平成 28 年度学校経営計画 	
協議内容 の概略	<p>平成 27 年度高等部進路指導状況について 今年度高等部を卒業した生徒の進路 大阪整肢学院で今年度移動のあった卒業生の動向</p> <p>平成 27 年度学校教育自己診断アンケートについて 前回アンケート結果の集約報告 学校教育自己診断結果のまとめと課題と今後に向けて</p> <p>平成 27 年度学校経営計画評価について 経営計画の取組みの結果と評価について 各学部主事より取組み状況・生徒状況について報告</p> <p>平成 28 年度学校経営計画について 平成 28 年度学校経営計画説明 目指す学校像の確認</p>	
提言内容・ 改善方策	<p>提言・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校自己診断の質問は生徒に還元していけるような質問を考えてほしい。 ・生徒が意見を出しやすいよう説明が必要ではないか。 ・学院は医学的な立場、保護者の立場からの意見であり、見方は厳しい。 ・学院の児童生徒は、様々な成育歴がある。主体的に社会に出ていきたいとの思いを持てるような教育を望む。 ・教育現場でのヒヤリハット報告数をあげるのなら提出書式を考える必要があるのではないかと。 ・卒業式が素晴らしかった。地域にも発信していきたい。 ・児童生徒が地域に貢献できるボランティアを考え、続けていきたい。 ・専門職・支援職・教育職と、立場が違うので意見の違いは、仕方がない。学院と学校のコミュニケーション不足解消のために、第3者が入り、話し合うことも必要 	